

平成23年度政府開発援助ユネスコ活動費補助金「アジア・太平洋地域等における開発途上国の教育、科学又は文化の普及・発展のための交流・協力事業」

「モンゴルにおける持続可能な教員研修のための ICT 教材の開発と普及」

プロジェクト第2フェーズ：キックオフ会議

「モンゴルにおける持続可能な教員研修のための ICT 教材の開発」の第二フェーズのキックオフ会議が、2011年6月16日に、モンゴル国ウランバートル市のモンゴル教育大学にて実施された。会議には、モンゴル側からプロジェクトのコーディネーター、教育省の関係者、5教科のVCD教材制作チームのメンバー、通訳者、調整スタッフら計18名が参加した。日本の東京工業大学からは学術国際情報センターの山口しのぶ教授、山口・高田研究室の大学院生のモリゲンダライと矢野晶太郎の計3名が参加した。

会議の冒頭で山口教授が開会挨拶を行い、今回のプロジェクトの経緯やスケジュールを紹介し、9月に開催予定の国際会議等プロジェクトの活動計画を説明した。続いて、プロジェクトコーディネーターの J. Sukhbaatar 教授が昨年12月から本年3月まで実施したプロジェクトの成果や作成した教科書、VCD製品の状況を具体的に報告した。そして、モンゴル語（国語）、人間と環境、コミュニケーション、音楽、体育といった5教科のVCD教材制作チームから、各自のチームの準備している教材の内容、特徴や構成、進捗状況の報告を行い、今月の作業調整、日程等を話し合った。



図1 コーディネーターからのプロジェクト紹介

また、同会議で東工大大学院生チームが5教科のVCD教材制作チームメンバーに対して、小学校教員向けのインタラクティブ授業用教材開発ツールとして3つのアプリケーションを紹介し、教材作成例を提示した。そして、5教科の教材制作専門家たちは、この3つのツールに対する印象や実用性等についてグループディスカッションを行い、意見をまとめた。

会議の最後にプロジェクトや主要活動等に対する参加者らへの質問応答を行い、プロジェクトの今後の具体的実施計画を確認した。



図2 研修教材に関する説明



図3 キックオフ会議の参加者